

上宮寺通信

第二十九号

一休さん

新年おめでとうございます。

ただ、新型コロナウイルスのさ
らなる感染拡大が続き、帰省や
旅行なども自粛が求められ、い
つものような華やいだ気分で迎
えるお正月ではありませんでし
た。

今年は例年とは違うお正月で
したが、お正月で思い出される
のが、「どんち」で有名な一休
さんのお話。

新年を迎え、「めでたい」と浮
かれていた人々の前を、「門松は
冥土の旅の一里塚 めでたくも
あり めでたくもなし」と言い
ながら、しゃれこうべを差した
杖を手に町を歩いたといわれて
います。人々からは気味悪がら

れ、石を投げられたとも。

しかし、一休さんの言われた
ことは間違いではありません。
昔は数え歳でしたので、正月に
なれば一つ歳が増える。歳が増
えれば、それだけ残された寿命
も短くなる。「いのちは儂(はか
な)い」、そのことを忘れるなど
いうことです。

テレビアニメのかわいいイメ
ージの強い「一休さん」ですが、
実際は相当に変わったお坊さん
だったらしく、いろいろな話が
残っています。ただ、そのほと
んどが私たちの有り様をチクリ
と皮肉ったものです。

見栄っ張りで有名な大きなお
屋敷の主人が「今度、法事を行
うのでお参りいただきたい」と
一休さんに頼みました。

法事の前日、その屋敷に一人
の物乞いがやってきました。着
ているものは汚く、顔も垢で真
っ黒です。屋敷の主人が出てき
て、「おまえにやるものなどな
い！出ていけ！」と追い出して
しまいました。

次の日、一休さんがとてもき
れいな袈裟をつけた法衣姿でや
ってきました。主人は「ようこ
そ、おいでくださいました。ど
うぞ、おあがりください」。でも、
一休さんはあがろうとしませ
ん。

一休さんは主人に「昨日、物
乞いがここへやってきたであろ
う」と尋ねました。主人は「は
あ、あまりに汚らしいので追い
返しました」。一休さんが「あの
物乞いは私じゃ」と答えると主
人はびっくり。さらに、「お参り

してもらいたいのは、私ではな
く、この袈裟であろう」と袈裟
だけを残して、一休さんは帰っ
てしまわれたそうです。

「本当に大切なのは中身なの
だ」との一休さんならではの戒
めでしょう。私たちも少なから
ず身に覚えのあることですので
チクリと響きます。

ちなみに1月9日は「いっき
ゆう」の語呂合わせで「どんち
の日」だそうです。



◆行事案内

上宮寺の年間行事予定

3月8日(月)

春のお彼岸・永代経法要

法話：林 祥真師(一宮市禮讃寺)

7月中旬～下旬(6日間)

夏休み おつとめのけいこ

8月13日(金)・14日(土)

お盆(盂蘭盆会) 法要

9月8日(水)

秋のお彼岸・永代経法要

法話：未定

11月8日(月)

報恩講

法話：伊奈祐諦師(西尾市安楽寺)

◆話題あれこれ

○上宮寺の年間行事予定を上
に挙げておきました。新型コ
ロナウイルスの感染状況によ
っては変更もしくは中止にす
る場合もありますが、どうか
ご予定いただきますようお願い
いたします。また、その他
にも行事を企画しましたら、
その都度ご案内いたします。



※新型コロナウイルスの感染状況に
より変更する場合があります。

○年忌法要の予定がございま

たら早めにご連絡をいただきま

すようお願いいたします。令和

3年に年忌が当たる年の没年は

次の通りです。

一周忌(令和2年)

3回忌(令和元年・平成31年)

7回忌(平成27年)

13回忌(平成21年)

17回忌(平成17年)

23回忌(平成11年)

27回忌(平成7年)

33回忌(平成元年・昭和64年)

37回忌(昭和60年)

43回忌(昭和54年)

47回忌(昭和50年)

50回忌(昭和47年)となります。

カッコ内が没年です。

【雑感】
今年は“うし”年です。お釈
迦様の生まれたインドでは“う
し”は神聖な動物とされていま
す。それこそ車や人よりも“う
し”が街中でも優先されます。
学生時代にインドへ行ったと
き、カルカッタで道の真ん中を
悠々と“うし”が歩き、その後
ろで車が渋滞しているのを見
びつくりしたことを覚えていま
す。日本だったら“うし”にあ
おり運転をする人が出るかもし
れません(笑)。でも、“うし”
のようにゆっくりでも確実に歩
んでいくのが大事です。今年も
よろしく願います。

(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金二丁目十九番十五号

☎052-871-0547